

ら。ふれた

2021年8月に九州北部をはじめとした日本各地で発生した豪雨により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。コロナ禍での復興は心身ともに負担が大きいかと存じます。被災された皆様が、一日も早く平穏な生活に戻れますようお祈り申し上げます。

おもてなしのこころ



東京オリンピックの閉会式を終えて今この原稿を書いています。オリンピックの開催の是非論争、選手たちの極限の戦いに感動、一方で新型コロナの再拡大と感染爆発。この夏は良くも悪くも忘れられない夏となりました。

皆さんそれぞれに色々な思いがあることを受け入れる — それが多様性を認める社会だと思っているので、ここでそういった件についての僕の意見は述べません。今号で書きたいのは、組織委員会の実働隊の皆さん、そして医療関係者を含むボランティアの皆さん方への感謝の気持ちです。



国、各機関、委員会のトップの方の発信力は色々問題があったにせよ、この世紀の一大イベントで、組織委員会職員、ボランティア一人ひとりが海外の選手、関係者、メディアの方々に「大会期間中丁寧に親切に、心遣いとおもてなしの精神を持って対応することで、海外の皆さんが日本にとっても好感を抱いて帰られた」という記事を幾つも読みました。観光立国へと舵を切っている日本国の今後にとって、国民自体（市井の人たち？）の信頼残高が随分と積み上がったのではないのでしょうか？

私の愛読誌の「致知」7月号に帝国ホテル社長へのインタビュー記事が出ていました。今年の大河ドラマの主人公渋沢栄一氏が、世界に通用する迎賓館的なホテルが日本にも必要だ、と開業に関わった日本屈指のホテルです。そこに10年前の東日本大震災時の都心の帰宅難民となった皆さんへの従業員の対応の話が出ていました。

自宅へ帰れずに一晩夜を明かすことになった皆さんのためにロビーを提供し、社長が指示する前に従業員一人ひとりが自発的に当たり前のように動き、ブランケットや水、パンなどを皆さんに提供された。そして震災10年を経てなお、当時一宿一飯の恩を感じた皆さんから感謝の手紙が届いている、もちろんそれをきっかけに最

頂のホテルにされた方もおられる、そんな話でした。まさに従業員一人ひとりに帝国ホテルのDNAが宿っているのでしょうか。

2つの「おもてなし」の話に共通するのは、【自分の職務（任務）への誇り】と【相手への敬意＝リスペクトする気持ち】だと思います。

当社は社員が12名（来春1名新卒を迎えて13名の予定）の会社です。いつも社員一人ひとりがラプロス代表であり、広報担当であり、営業担当であり…、いくつも職務（任務）を持っているわけです。そしてラプロスの1/12を背負っている、あるいは発信している。規模の小さい会社ほど、そこは比重が大きくなるわけですね。そのことを好機と捉えて、自ら主体的に考え行動し、また「同じ絵を見て」（ラグビーワールドカップ日本代表のジェイミー・ジョセフヘッドコーチの言葉）ラプロスの目指す方向を思い描きながら進んでいくことが大切であり、そうあることを願い続け、言い続けること — それが社長としての僕の役割だと。

ラプロスの企業理念の中で3つの行動規範のうち、
◇アクション 『YES』から始める卓越した『行動力』
◇パートナーシップ 『機会』と『縁』を大切にしたい永いお付き合いという2つがあります。

僕にとって、東京オリンピックはラプロスの方向性を再認識する良い機会となりました。

3年後のパリ五輪も健やかな気持ちで迎えられるよう、コロナ収束までもうひと踏ん張り、皆さん一緒に逃げ切りましょう！



代表取締役 樋口 繁樹

2021年
9月号
vol.80

発行：株式会社ラプロス
発行人：代表取締役 樋口 繁樹
〒810-0001
福岡市中央区天神1丁目12番1号
日之出福岡ビル5階
TEL092-737-2211
FAX092-737-2212
弊社のHPは下記URLよりご覧いただけます。
<http://www.lapros.co.jp/>
編集担当：渡辺、中村、藤吉

引き続き、手洗い

・うがい・消毒
頑張らしましょう！



SDGs

～今、私たちにできること～

文：樋口 恵子

『SDGs』（現代に暮らす私たちの周りにある、貧困や社会格差、環境破壊による異常気象など、さまざまな問題の解決を目指す取り組み17色のカラーホイールマークがわかりやすいですね）について考える機会が多くなりました。

私たちの会社としても早急な課題として取り組んで行かなければなりません、個人として何ができるか考えることが多くなりました。

いきなり堅苦しい文面ですみません・・・

誰しもが経験・想像もしたことの無い日々を過ごすことになったこのコロナ禍ですが、私にとって今までの暮らし方を見直す時間を持つことができました。

きっかけとなったのはコロナ禍初期の頃の「マスク」「トイレットペーパー」不足でした。高騰・品薄の言葉が不安心へと買い込みへと追い込まれ、随分と買い込んだものです。冷静さを失っていた自分が恥ずかしいです・・・



その時期を境にこれからの暮らし方はどうなるんだろう？と考えることが多くなりました。同時にSDGsへの取り組みがうっすらと私の中で意識付けされ始めました。社会の一人として深く学ぶ必要はあるのですが、まずは『できることからやってみて知らな

いことはその時その時で知ればいいのか』と肩に力を入れず始めることにしました。

今回は私のSDGs（17項目を全然満たしていませんが・・・(笑)）を書かせていただきます。少しでもお付き合い下さい。

あくまでも個人のレベルでの見解です・・・

①量や物にこだわってみる。自然に優しい？ここからです。

②買う・食べる・適切な量？これはどんな物？応援して自分も楽しむ！

買いだめをしない。食材などは料理無料アプリなどを活用して、使い切りを目指す。（新メニューが食卓に上がります！最近のおすすめはパンの耳を使ってお漬物！）

献立を1週間で立て食材の適量目安をつけておく。（食いしん坊の夫が毎週献立を考えてくれますので助かっています(笑)）

◆2次目標：食材はできれば産地産直。産直商品などで日本の農畜水産産業を応援する。

旬のものを頂けるメリットは体にとってもいいことです！同じ食材が多少続いてもアプリでレシピを検索。発見もありで楽しいです。

◆3次目標：『フェアトレード』『MSC認証（海のエコラベル）』など環境・公正な取引により途上国に暮らす人たちの自立支援をされた商品。

義務教育やワクチンなど、当たり前が当たり前でない国の子供たちや発展途上の国々で頑張る方々に少しでもお役に立てるならば・・・小さな支援への

意識改善です。

③自然に優しい？かどうか・・・

身近なこととして自分の子供やまたその子供たち、生物・植物が本来あるべき姿で生きていけるのか、想像してみるように。

毎年猛暑と言われ豪雨など異常気象。ダウンコート未使用の冬。秋刀魚もいまや高級魚となるなど・・・

●電気のつけっぱなしはしない。（これ、結構課題です・・・）

●食器洗いは食洗機を利用する。

（時間・水量・コストも削減 ※但し量や人数により変わります。）

●天然由来の材料の洗剤剤を使用するなど・・・

●家で洗える素材の服にする。

●3R（リデュース（無駄なごみを減らす）・リユース（ゴミにせず繰り返し）・リサイクル（再度資源に作り直すこと））



環境については、快適な生活を覚悟して放棄しないといけないことが多いと思います。神経を張り詰めて行すべきではなく、まずはできるを知ることから始まりだと思っています。自然に行動できるようになる日が来ることを目標として、身近なところからのSDGsをキーワードに継続していきたいと思っています。

免許皆伝 MENKYOKAIDEN

その59

『蛇の道は蛇』の巻

私アラキの戸建てへの思いをつらねるこのコーナー、今回で59号となりました。コロナのおうち時間を使って、DIYで家のお手入れをするのが静かなブームになっているようです。そこで私も、築20年となった自宅の洗面化粧台の水栓がくたびれてきたので、先日DIYで交換しました。今回はそのお話を。

水栓といいましたが、水道水が出てくる場所です。「蛇口」と呼んだほうがわかりやすいですね。

なぜ蛇口と呼ぶのかググって見たところ、明治の近代化により1887年(明治20年)に横浜に水道がつけられたときに、公共の水飲み場の水栓のデザインに蛇を用いたことが由来だそうです。蛇の口から水が出るから「蛇口」。わかりやすいですね。

水栓のことを別名で「カラン」と呼ぶこともあります。これは、オランダ語で鶴を意味するkraanから由来するそうです。蛇と鶴、どちらも動物の名前がついているところがおもしろいですね。英語では鶴のことをcrane、つまり、重い物を持ち上げるクレーンのことになります。他にも建物関係には動物の名前を使うものが多くあります。犬走り、キャットウォーク、鴨居、かえる股、ハト小屋などなど。家具の猫脚とか、工事現場の黒と黄色のトラロープなんていうものもあります。…話が脱線しました。

水栓の交換に戻ります。

我が家の洗面化粧台の水栓は、ホース内蔵で水が出る部分が引き出せるようになっているのですが、このホースを伝って下のキャビネットの中に水が垂れてくるようになってきました。これは故障ではなくて、水受けに溜まるようになっていました。みなさんもキッチンや洗面化粧台のキャビネットの中を時々確認してみてください。



交換する新しい水栓は、ホースで引き出せるものはやめました。インターネットで有名な某国産メーカーのものを選び送料込で2論

吉円からお釣りで焼鳥に行けるくらいの値段で購入できました。

水栓が届けばあとは取り付けるだけ。必要な工具は、スパナ、ペンチ、水栓用特殊工具または大型のモンキーレンチです。私は水栓用特殊工具の代わりにパイプレンチで代用しましたが、キャビネットの中に頭を突っ込んで作業しなければならず、ちょっと辛かったです。キャビネットの中を空っぽにし、止水栓を閉めて水が出ないようにします。水道工事では止水栓を最初に閉めるのは基本のキですので、忘れないようにしてください。水栓を取り外すときに配管から残り水が出てくるので、雑巾をキャビネットに敷いて作業をするとうれい。取り外しは10分もあればできます。

外した跡をきれいに掃除して、今度は新しい水栓を取付説明書に従って取付け作業を進めます。配管の接続部の形状や洗面化粧台のカウンターの穴の大きさはほとんどのメーカーで同一ですので、特殊な加工や部

品は必要ありません。配管を確実に締め付け、止水栓を開けて吐水量がちょうどよくなるように止水栓の開き具合を調整して完了。水漏れがないことを確認します。作業開始から1時間程度でした。ついでに、洗面ボウルのポップアップ排水栓、ほら、洗面ボウルに水を溜めるときの栓です、これを閉めるときに引っ張るツマミの動きが渋くなっていたので、分解してゴミを掃除しワイヤーにシリコンスプレーを吹いたところ、動きがスムーズになりました。

というわけで、今回はこれでおしまいです。何でも自分でしないと気がすまないアラキとしては、他にも、キッチン水栓交換編、IHクッキングヒーター交換編、ビルトイン食器洗い機取付け編、玄関の鍵交換編、パネルカーテン製作編、スチール塗装編、エアコン取付け・取外し編、床下に潜って土台点検編、天井裏に上がって断熱材敷込み編、学習机製作編、チェーンソーで植木伐採編、ちょっと外れてユーザー車検整備編、ボンネット塗装編などのネタもあります。ご要望があればご紹介しますね。…ないかな。



『東京2020風』 絵：アラキ

山口的 **今が旬** ~ 今日検索 ~

今年の夏も終盤を迎えたこの頃(原稿作成時8月22日)、今年は何んだか夏!という感じがしなかったのは新型コロナウイルスの流行によるものなのか、雨の日が多いからなのかは分かりませんが、この季節になるとYouTubeで『心霊映像』と検索する機会が多くなるのは私だけでしょうか。

怖がりなくせして怖い映像を見てしまう私は、よく就寝時にスマホを開いて怖い動画を検索しては、恐怖のあまり隣で寝ている妻に『ねえ、

起きてる?』と話しかけて気を紛らわすことを繰り返しています。終いには、『怖いなら見なきゃいいじゃない、というか起こさないでくれる?』と咎められる始末。ほんとに迷惑な話です、これからは気をつけようと思います(といいつつまた今日も検索しそうです)。

そんな迷惑な私ですが、幼い頃に不思議な体験をしました。

私が小学校低学年の頃、4つ違いの兄と2人でお留守番をしていた日のことでした。兄と仲良くゲーム機で遊んでいた(兄に遊ばれていた)時、尿意を催しトイレに行くところ不思議、トイレに先客がいらっやいました。兄と私の2人しかいないはずの家になんとご年配の男性が私の家(厳密には私の両親が住宅ローン組んで購入した家)のトイレで用を足しているではありませんか。まだ

明るい昼間だというのに白昼堂々と現れては微動だにしない男性。怖くなった私は急いでリビングでゲームをしている兄の元へ、『お、おじさんが!』。兄もびっくりして一緒にトイレへ行きましたが、そこには誰もいませんでした。今となっては薄れていく記憶の中で、夢だったのではと自分に言い聞かせています。

話は変わりますが、昨年人生で初めて車を買いました。中古車で色はワインレッド。街中で同じ色の車種をみかけることがあります。ただ小回りの効く軽自動車で念願のライドドア、小さな子供がいるので安心です。購入してから半月ほど経ったある日のこと、いつものように車に乗った私は、せっかく車

を買ったのだから音楽でも流そうとカーオーディオにCDを入れようとしたところなぜか入らない。取り出しボタンを押すと中から演歌のCDが出てきました。前所有者の物でしょうか。

車を買った際に営業マンからもらった基本情報を書いてある書面を手元にとり少し考えてみることにしました。まだ浅い走行距離7000km街中で同じ色の車種をみかけるとご年配の方が多い、前所有者の私物らしき演歌のCD、いつぞやのおじさん(これは関係ありませんが)。考えながら自然と両手を合わせていました。

そんなことを思い出しては就寝時に検索して妻に『ねえ、起きてる?』『はよ寝れ!』と怒られる日々を送っています。



突然ですが... クイズです!!

9月の祝日である「敬老の日」ですが、次の3県のうちのどの県をきっかけに広がったものでしょう?

- 1. 沖縄県
- 2. 兵庫県
- 3. 長野県

ご紹介 キャンペーン

ご家族・ご友人をご紹介ください! ご紹介者さまからの紹介でご紹介いただいた方がご成約に至った場合

5万円分の商品券をプレゼント!

詳しい情報につきましては右のQRコードからご確認頂けます。ぜひ一度ご覧ください(^ ^)♪



編・集・後・記

今年の夏は、新型コロナウイルスの再拡大と感染爆発、異例の豪雨や長雨。昔のようにお盆の時期に帰省して家族が集まったり、海や川や山などに涼を求めて旅行やキャンプをしたり、小学生だったら友達と学校のプールに行ったり、今年の夏もお預けされることが多かったですね。

渡辺

このらぶれた一でも、おうち時間のお話やコロナが影響している経済情勢のお話などが続いています。読んでいただく皆さまに少しでも心の癒やしになれるように、今号からクイズコーナーを始めました。誰にでも身近で「へえ〜!」となれるクイズを掲載していきたいと思っています。

